

山の百名花

講師 湯澤 寿人

【63】イワウチワ(岩団扇)

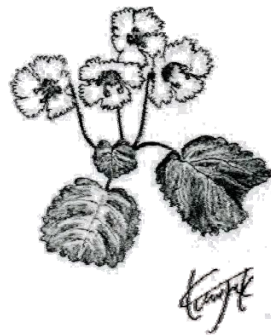
イワウチワと言えば、僕が無名山塾に入会して半年余りしか経っていない4月の末に残雪の谷川岳に行った時のことを思い出します。阿久津さんという先輩会員をリーダーに総勢5名、一番年上の僕でギリギリ30代、みんな20代と30代、若かった。

前夜は土合の駅にステーションビバーク、他愛のない話で盛り上がり、翌朝は絶好の登山日和でした。西黒尾根から山頂に登り、天神尾根を下りました。天神平からは普通にロープウェイを使って降りるのは面白くないということで見えが一致、どこを下るかということになりました。そこで、天神平の東端にある高倉山から北、田尻沢の東、清水トンネルに向かってのびている尾根を下山ルートに選びました。そこは残雪の樹林帯の尾根で、時折シャクナゲや笹の藪をかき分けていく藪の尾根でした。

しばらく下ると所々雪の消えたところに淡いピンクのちよつとイワカガミに似たかわい花が咲いていたのでした。イワウチ

ワという名前もその時に教えてもらいました。それが僕のイワウチワとの出会いでした。

そんな登山ルートのない藪尾根を歩くのは、僕には初めての経験でしたので胸躍るものでした。いまでもイワウチワに出会うとあの時のワクワクした山行を思い出すのです。イワウチワは僕にとって山塾での青春?の思い出の花なのです。



【64】ナルカミスミレ(鳴神堇)

前述のイワウチワは思い出の花ですが、このナルカミスミレはまだ見ぬ花です。

いろいろと山の企画を考えているうちに出会ったのが、このナルカミスミレです。群馬県の桐生市の北にある鳴神山で発見されたことからその名が付いたとのこと。白くてかわいい花です。写真でしか知りませんが。

それがきっかけでちよつと調べてみました。日本ではスミレの仲間が50種以上あると言うではありませんか。標高の高い山では、黄色いスミレ、キバナコマノツメなんかにはよく出会いますね。ペロツと下にでた真ん中の唇弁に細かい紫の線が入っている、そんなのが僕のスミレの仲間の見分け方です。あんまり細かく名前もわからないので、大雑把にこれスミレの仲間!で済ましてるのが現状です。

スミレの名前の由来も花を横から見た形が、昔の大工さんの墨つぼに似ているからとか、そんなことも知りました。こんどスミレの仲間を見つけたら確かめてみたい。そんなんでナルカミスミレ、見つけるのが難しいかもしれませんが、探しに鳴神山に行ってみましょう。

